

様

むねざね樹木医事務所
 (有) エコネット・むねざね
 樹木医 代表取締役 宗實久義

樹木簡易樹勢調査報告書

この度はクロマツの樹勢簡易調査依頼を賜り有り難うございました。下記の通り調査結果を報告します。又、その対策が必要な場合の提案事項等を付記しています。

記

1. 件名 [] クロマツ樹勢簡易調査
2. 所在地 福岡県 []
3. 観察日 平成 28 年 4 月 18 日
4. 調査者 樹木医宗實久義
5. はじめに

HP から問い合わせがあり、メールで資料（データ）等をいただき樹勢衰退要因を何点かに絞り込みましたが、よりの確に状況把握し課題に対処できるように現地で簡易調査を行いました。

6. 調査経過と調査結果

1) 現状確認と調査結果



全体の状況



枝の状況

全体に小枝枯れが散見され、下部の一枝のみ全体が枯損している。出入りの植木屋さんが全て枯れ枝の処理をされたそうですのでその後、新たに発生した枯れ枝であり、樹勢衰退はまだ徐々に進行していますが、新芽も伸長しており、急激にマツ全体が衰弱する状況ではないと思われます。



全体が枯尊している枝



新芽の状況

これらの全体状況を踏まえて衰退要因を把握する為に簡易検査を行い、念の為、マツ材線虫病（一般呼称・松食い虫）の可能性が無いか最初に確認しました。

①ヤニ滲出検査

マツ材線虫病に罹病すると主幹のヤニが止まりますので主幹に確認孔を空けてヤニ滲出チェックを行いました。



検査前



1時間経過後

結果、ヤニの滲出は A ランク（流れ出る）であり、主幹の状況は問題ない事が確認出来ました。（調査日時点では、マツ全体の状況も踏まえて判断するとマツ材線虫病には罹病していないと思われます。）

②土層調査（検土杖検査）



約 25cm から下が赤土の地山